

Question_3

先進企業の「次世代育成支援」や「仕事と生活の両立支援」に取り組む基本的な考え方を教えてください

Answer

先進企業では、以下のような考え方で「次世代育成支援」や「仕事と生活の両立支援」に取り組んでいます

1. 株式会社カミテ

当社は、「少数精鋭主義」「社員と会社の双方の発展、幸福を追求し、明るく楽しい職場づくり」を経営理念の中に謳っている。これまでも社員の雇用環境の整備や働き方の見直しに関しては、育児休業制度、子

供の看護休暇制度、事業所内託児施設の設置等に積極的に取り組んできており、今後も経営戦略の一つとして推進していく。

2. 株式会社長岡塗装店

当社は、職業柄、“職人を育てる会社”であるだけに、社員を定着させ貴重な戦力に育てる観点から、緻密なカリキュラムによる職場内訓練を実施するとともに、人事制度面においても“社員が安心して仕事に集中できる制度づくり”を常に心掛けている。次世代

育成支援の取組みについても、子を持つ若い社員が当社に定着しつつ実力を上げ、当社の未来を託していける人材に育って欲しいという経営者の考えがある。

3. 株式会社第一印刷所

当社は、地域社会の活性化と社会貢献を目標としている。社会の発展には、少子化対策は不可欠である

との認識のもと、仕事と子育ての両立を図るため必要な職場環境整備に計画的に取り組む。

4. AWS株式会社

当社では、基本理念として「実直（実業に徹し、正直に働く）」という社訓を掲げるが、これはソフトウェアを通して、“人に優しい”サービスを顧客に提供する心構えを持つ必要性から示されたものである。そこで、

まず社員の土台となる会社が、社員に対する思いやりを示す意味で、社員に優しい制度の一環となる子育て支援を行うこととした。

5. 三笠運輸株式会社

当社は、顧客へのサービスを提供する中で、“安心・安全”を基本理念として掲げているが、そのサービスを提供する社員に対しても、安心して働いてもらえる人事制度を築いていくことを常に心掛けてきた。し

たがって、今回の次世代育成支援についても、社員が安心して仕事に取り組める環境を与えることを課題としている。

6. 共立印刷株式会社

当社は、社員一人一人の能力が結集する全員参画の経営を理念とするところから、個人の人間性やスキルを重視するとともに、その人事労務管理手法については、局所ごとに柔軟な制度づくりを心掛けている。

子育て支援は、「“仕事と生活のメリハリ”こそが生産性の向上に繋がる」という理念に基づいて取り組んでいる。